

- ・足首のこわばり
- ・書痙：とくに字を多く書く職業の人で、ペンを握った指がこわばり、ペンを離せなくなります。

MODALITY

- ▶ 外気、手で圧迫すること（咳で胸の痛みのある場所を）、歩くこと、活動しているとき、ベッドから起き上がるなど

- 深夜以降、横になったとき、ベッドで温まったとき、飲物を飲んだとき、歌ったり笑うことなど

RELATIONS

- ・ Antidoted by : Camphora
- ・ Complementary : Nux vomica
- ・ Compatible : Calcarea carbonicum, Pulsatilla, Gnaphalium, Veratrum album

Dulcamara ウッディナイトシェード [湿った寒さに曝された後に悪化]

Solanum dulcamara L.

BACK GROUND

Dulcamaraは、北アフリカ、ヨーロッパ、アジア北部原産のナス科ナス属の低木多年草です。乾燥地で生育するため、湿地には比較的弱いところがあります。茎の根元のほうは木質化しています。そこから一見不規則に細い枝が伸びていきます。



一般名は、woody nightshade, bittersweet, bitter nightshade, european bittersweet, climbing nightshade felonwort, felonwood, scarlet berry, violet bloom などと呼ばれています。

Woody nightshadeは、猛毒のnightshadeと区別するためにwoodyまたはbitterなどを付けています。Bittersweetの名は、根や茎を噛むとはじめのうちは苦く、それから甘く変わることによって由来します。苦味は秋よりも春のほうがはっきりとしています。Felonwortは、felon（古代英語で化膿病巣という意味）に効果のある薬草という意味です。学名のSolanum Dulcamaraは、Solor（薬になる）、Amaradulcis（苦

くて甘い）に由来しています（注）。

枝は若いうちは緑色で毛が生えていますが、年を経ると木質化してきます。開花期は夏です。直径12～16mmほどの薄紫色の花で、中央部に明るい黄色の大きい雄しべがあります。実は卵形で、夏から秋にかけて緑色からオレンジ色、熟すと明るい赤色に変わり、葉が落ちたあとと真冬まで枝に残っています。未成熟の緑の実には、牛や羊に軽い中毒を起こすことがあるとされ、人間の場合、熟した実には微量の毒性物質が入っているため、幼児に食べさせないように注意されています。

メディカルハーブとしては、古代ギリシアの時代から外用内用ともに、各種疾患に使われてきました。呼吸器疾患や皮膚疾患（難治性の皮疹や潰瘍、皮膚腺病など）、リウマチ、発熱、腫瘍、強肝剤として黄疸などにも使用されました。

Dulcamaraは、ソラニンをはじめとするアルカロイド類、ダルカマリン、糖質、スターチ、レジン、粘性物質を含みます。ソラニンは、ジャガイモの芽にも含まれているとおり、大量投与で弱い麻薬性の作用を示し、末梢神経系や随意筋に影響せずに、中枢神経系に麻痺を起こします。瞳孔には影響を与えません。Dulcamaraの非常に多量の投与の場合は、心拍や呼吸が遅くなり、感覚が麻痺して体温が下がってきます。下痢や嘔吐、肝機能障害になっていきます。めまいや精神錯乱を起こし、痙攣から死にいたりします。

MATERIAL

開花直前の時期に採取した若い葉と茎

FIRST PROVING

ハーネマン (『Materia Medica Pura, Chronic Disease』, 1811)

MIND

Dulcamaraタイプは、一般的に頑健な体をしていますが、寒さと湿気に対して非常に過敏です。唇は寒い空気に曝されると、ピクピク動くことがあります。皮膚は乾燥ぎみです。汗は多くかくほうで、ときに不快な臭いがします。

日中はうとうとしたり、あくびを出しますが、夜はベッドでじっとしていられなかったり、あるいは悪夢によって目が覚めてしまうことがあります。猫に対してアレルギーをもっていることがあります。

落ち着きがなく、神経がビリビリしています。忍耐力がなく、イライラしがちで、考えていることがなかなかまとまりません。別に怒っていなくても、他人に対して喧嘩腰になったり、叱りとばしたり、言い争いをするする傾向があります。何かを急に我慢できないほど欲しがる反面、手に入れると、もういらなくなってしまう。

このタイプは、非常に自己中心的で、自分の支配下にできるテリトリーを決める傾向があります。通常、家族ですが、ときに友人や隣人も対象になることがあります。自分のテリトリー内である家族に対しては支配的で、多少横暴な面をもっています。家族の健康を心配しますが、それは自分の支配下に置いておきたいからです。自分がいつでも正しいと主張する傾向もあります。

空腹は感じるものの、食べ出すとすぐに飽きてしまいます。喉は渇き、冷たい水を欲しがります。

AFFINITY

とくに呼吸器粘膜、消化器粘膜、リンパ系、筋腱膜、皮膚に強い親和性があることがわかっています。

CLINICAL APPLICATIONS

臨床上、非常に特徴的なのは、湿った寒さに曝された後に悪化する疾患 (Aconiteの場合は、乾いた寒さ)と、汗をかいた後や濡れた後に、寒さに曝露された影響で悪化する疾患に処方されます。

■消化器系

- ・下痢：天候が雨になったり、気温が急に低下した場合に起こる下痢。黄色か緑色がかったヌルヌルした便になります。ときに微量の出血を伴うことがあります。冷たい食事で悪化します。寒気が激しいことがあります。冷たい飲物を切望します。濃い粘液状

の唾液が多量に出ることがあります。

■呼吸器系

- ・喘息、気管支炎、肺炎：湿ったときに悪化する、寒さでも悪化します。
- ・アレルギー性鼻炎：とくに夏の終わりから秋にかけて悪化します。
- ・花粉症
- ・風邪：黄色い濃い粘液を伴います。濡れた後に悪化。
- ・鼻咽頭炎

■関節疾患

- ・リウマチ
- ・筋腱膜の痛み：寒く湿った気候や発汗後、または濡れた状態で悪化し、運動で改善する痛み。痛みは、いつも芯まで冷える感覚を伴います。
- ・顔面神経痛：顔の発疹を抑制した結果、起こります。
- ・関節のこわばり
- ・腰背部の痛み
- ・脊髄炎
- ・腺炎

■皮膚

- ・口唇部のヘルペス
- ・陰部ヘルペス
- ・顔のいぼ、手のいぼ：大きく、平らないぼです。
- ・頭部白癬
- ・頭や顔の皮疹：痂皮が多く見られます。
- ・性器周辺の皮疹：とくに陰囊から大腿にかけて。
- ・皮の硬い皮疹
- ・若齢者のじん麻疹、湿疹、膿痂疹
- ・天疱瘡
- ・癩風 (でんふう)：体幹の皮膚に褐色、または茶色の糠状斑ができます。

■その他

- ・頭痛：副鼻腔炎に関連して起こります。顔の発疹を抑制して起こることもあります。寒さと湿気で悪化します。鼻汁を排出しているときは、頭痛が改善します。
- ・耳痛：とくに左耳。夜、寒さと湿気で悪化します。
- ・膀胱炎：冷たく湿った場所で過ごした後に起こります。
- ・ベル麻痺：話をするのが困難になります。

MODALITY

- 暖かさ (咳のときは除く)、乾燥した気候、運動 (リウマチのとき)、患部を動かすこと、体位を変えること、まっすぐに立つことなど
- ❏ 湿気の多いじめじめした寒さ、冷たい空気、雨や霧、嵐の前、季節の変わり目 (とくに暖かい日か

ら急に夜に寒くなったとき), 秋, 風邪, 夜に横たわること, 仰向けに寝ること, 外傷, 月経, 月の欠ける時期など

RELATIONS

- Antidoted by : Camphora, Cuprum metallicum, Ipecacuanha, Kali carbonicum, Mercurius
- Follows well : Bryonia, Calcareo carbonicum, Lycopodium, Rhus toxicodendron, Sepia, Veratrum album
- Incompatible : Belladonna, Aceticum acidum,

Lachesis

- Complementary : Baryta carbonicum, Sulphur, Natrum sulphur, Calcareo carbonicum

注) Solanumの由来が「私は楽になる」の意味のとおり, 1,500種類あるナス科の植物には, ヒヨスやイヌホウズキ, ストラモニウムなどの毒性の強い薬草から, ジャガイモやナス, タバコ, トマト, ペッパーなど身近に役立つものが多くあります. レメディで代表的なものには, Belladonna, Capsicum, Solanum nigrum, Tabacum, Hyoscyamus, Mandragora, Stramoniumなどがあります.